

# 平和な未来のために 一人ひとりができること

「子どもたちの未来のために、平和な世界を残していきたい」という組合員さんの願いから、コープやまぐちでは長年平和活動に取り組んでいます。今回は、2020年度に取り組んだ「平和のメッセージ」ご報告と、親子で平和活動に参加されている組合員さんのお話をご紹介します。

核兵器のない世界を願って

## 核兵器ゼロを求める平和のメッセージを 日本政府にお届け

被爆・終戦75年の節目である2020年は、改めて核兵器の実情を学び、一人ひとりができることを考えるきっかけづくりとして、学習パンフレット「実現しよう！核兵器のない世界(日生協作成)」を活用した取り組みをすすめました。

「コロナ禍のため、多くの方が集まるイベント等での活用はできませんでしたが、総代やコープ委員会、分野ネットの皆様へ配布し、それぞれ学習に活用していただきました。



▲パンフレット表紙



▲メッセージジカード

核兵器の実情や過去の歴史、世界情勢等についてまとめた学習パンフレットは、裏表紙の一部が「わたしたちは核兵器ゼロを求めます」と題したポストカード

になっており、核兵器廃絶を求めるメッセージや平和への思いを記入して政府に届けることができます。寄せられたメッセージジカードは、2021年3月末までに596枚集まり、4月、平和を願う市民の声として日本政府へ送りました。



▲集まったメッセージ

メッセージを寄せてくださった組合員、ご家族の皆様、誠にありがとうございました。



組合員親子にインタビュー

## 親子で考える 平和のこと

### キッズピース サポーターとは

戦跡見学や被爆者の方との交流、平和学習など、自主的にコープの平和活動に取り組んでいる子どもたち。(組合員さんの子どもも小学生・高校生が対象)



▶大木基行さん、志津江さん、キッズピースサポーターの利咲くん

### 長崎で学んだ原爆のことを伝えたい

「活動の中で一番印象に残っているのは、長崎平和の旅です。被爆者の方の体験談を直接聞くことができました。なんとく知らなかった戦争について、他国が持っている核兵器の数とか、資料を見てすっかり学べて良かったです。学習だけでなく、他のキッズピースサポーターのみんなとも仲良くなって、帰りの新幹線でUNOをしたことが楽しかったです。

その後、学校の授業で戦争のことが出てきたとき、みんな原爆のことをそんなに大きなことだと思っていなかったのだので、本当は被害がすごく大きかっ



## 大木さん親子が描いた 平和のメッセージ



真ん中に描いたのは「ゼロの芽」です。これからゼロの芽が育っていくことを願っています。(利咲くん)

核兵器保有別に色を分けた地図を描きましたが、いつか核兵器がゼロになる世界を願って書きました。(志津江さん)

「自分もともと日本史が好きなのですが、戦争に関する学習などに参加したことはありませんでした。コープの平和活動に参加して、息子がキッズピースサポーターの会議で話しているのを見ていると成長を感じましたし、学習を通して「今も苦しんでいる人たちがいるんだ」と自分も知ることができました。現在も各地に残っている資料を見たり、戦跡へ子どもを連れて行って、現地でしか感じられないことを一緒に感じたいです。」(大木基行さん)

「長崎平和の旅に同行した際、地元大学生のチャリディング発表を見たのですが、「平和への思いをこんな風に表現することもできるんだ」ととても印象的だったのを覚えています。コープの平和活動は戦争の悲惨さを訴えるだけでなく、前向きに未来のことも考えて取り組めるところが良いなと感じました。私は、祖父が満州で働いていたことなど、身近な人の戦争体験を聞いてきました。そんな話を子どもに伝えることで、戦争体験をつないでいけたらと思います。」(大木志津江さん)

「戦争体験をつないでいく」「子どもと話し、一緒に感じる」「戦争体験をつないでいく」

## コープやまぐちの平和運動のあゆみ

これまでコープやまぐちでは、被爆者の方々の思いを受け止め、共に行動を起こしていく取り組みとして署名活動や、山口県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」などの諸団体と連携した継承活動に取り組んできました。取り組みを一部抜粋して掲載します。

1981年	ゆだ苑に折り鶴とカンパ寄付
1982年	「核兵器禁止と軍縮」署名に取り組み、第2回国連軍縮総会に提出
1983年	核兵器のない平和な日本をめざす国民署名の取り組み(1万3,516筆)／平和行進に初めて参加
1985年	平和活動文集『みんなであげよう、平和の虹を』発行
1986年	被爆者にひざかけを贈る運動が周南ブロックから始まる
1990年	被爆45周年に「被爆者援護法制定」署名活動と「ゆだ苑」改修資金カンパを呼びかけ
2002年	山口のヒロシマデーで「ごつもん」店前アーケードに折り鶴展示
2005年	被爆終戦60周年を機に公募した戦争体験談をまとめた平和文集を発行
2006年	ピースサポーターの活動がスタート
2008年	平和市長会議への加盟要請を実施し、山口県で初めて萩市平生町が加盟／「都市を攻撃するなプロジェクト」署名に取り組み、2万4,216筆を広島市長へ届け、世界から集まった署名とともに国連へ提出
2009年	山口のヒロシマデーに合わせて、原水爆禁止記念事業の「非核三原則の貫徹と核兵器廃絶を誓う」碑を諸団体と共同で建立
2010年	5月山口県の全市町での平和市長会議の加盟が実現／6月山口県ピースアクション実行委員会主催「やまぐちピースフォーラム」開催
2011年	「核兵器廃絶を求める署名(CANT署名)」に取り組み、広島市長にお届け
2012年	キッズピースサポーターの活動がスタート
2014年	「核兵器禁止条約の交渉開始を求める署名」の取り組み
2017年	「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、コープやまぐちで5万9,635筆が寄せられる。全国の生協が集まった署名とともに「パクシヤ国際署名名推進連絡会へ。日本被爆協からイラク国連大使や中満泉国連軍縮担当上級代表にお届け
2020年	核兵器ゼロを求める平和のメッセージを呼びかけるためショートムービーを作成



## 世界の動き

2020年10月25日、核兵器の保有や使用を全面的に禁じる核兵器禁止条約が発効に必要な50カ国・地域の批准に到達。90日後の2021年1月22日、史上初めて核兵器を非人道的な違法とする国際条約が発効した。



▲ショートムービーはYouTubeで視聴可能

## 2021年の活動について

今年度は、戦争の記憶を継承する活動として、県内ピースマップを作成予定。また、2022年度ピースフォーラム開催に向けて準備を進めていきます。